

ChatGPT導入研修_応用編カリキュラム

2023/9/10
株式会社QED

1. 目的と受講者

本研修は、ChatGPTと外部サービスを連携させることにより、業務効率化を促進し、日々の細かな作業時間の削減および生産性を向上させる事を目的としています。また、本研修は、別紙「ChatGPT導入研修Eラーニング受講規約」に同意し、契約した事業者の従業者を対象として実施されます。

2. 研修方法

本研修は、LMS(ラーニングマネジメントシステム)によるEラーニングにより受講する事が出来ます。受講者には、ログインに必要なID、およびパスワードが割り当てられます。

3. 研修時間と修了

本研修の標準学習時間は15時間です。契約期間である2ヵ月以内であれば、分割して受講する事も可能です。本研修は、契約事業者の勤務時間内においてのみ受講する事が出来ます。また、本研修で利用するLMSにより、受講者の受講状況を把握し、全てのカリキュラムの受講が終了したことが証明された場合においてのみ、修了証を発行いたします。

4. カリキュラム

本研修では、業務効率化サービスの登録を行いますので、Eメールアドレスをご用意ください。また、業務効率化において、GoogleドキュメントやGoogleスプレッドシートなどGoogleのサービスを使用しますので、Googleアカウントを事前にご用意ください。加えて、ChatGPTが提供する有料会員向けのAPIも利用いたしますが、弊社にて研修用のAPIを提供いたしますので、無料でご利用いただけます。ただし、この研修で開発したものはあくまで研修用のサンプルとなりますので、業務での利用および一般公開は禁止となります。

| NO | カリキュラム | 概要 / チャプター |
|-----|-----------------|---|
| 1 | ノーコード開発 | 業務プロセスの自動化やサービス開発をコードを書かずに実装できる「ノーコード」について学びます。 |
| 1.1 | | ノーコードとは何か |
| 1.2 | | ノーコードの特徴 |
| 1.3 | | ノーコードのメリット・デメリット |
| 2 | iPaaS | ChatGPTと外部サービスとの連携をより簡単に実装できる、「iPaaS」について学びます。iPaaSによって、異なるサービス間でデータを連携し、業務フローの自動化を実現できます。 |
| 2.1 | | iPaaSとは何か |
| 2.2 | | iPaaSの特徴 |
| 2.3 | | iPaaSのメリット・デメリット |
| 2.4 | | iPaaSとChatGPTの理解によるビジネスへの影響 |
| 3 | ChatGPTのプラグイン活用 | ChatGPTに新しい機能を追加することができる「プラグイン」について学びます。具体例と共に、ニーズに合わせたプラグインを使用することで、ChatGPTの力を最大限に引き出すことができます。 |
| 3.1 | | プラグインとは |
| 3.2 | | プラグインの活用 ~WEBサイトの要約・情報抽出~ |

| | | |
|-----|---------------------------|---|
| 3.3 | | プラグインの活用 ~画像の生成~ |
| 3.4 | | プラグインの活用 ~グラフ作成~ |
| 3.5 | | プラグインの活用 ~プラグインの検索~ |
| 4 | ChatGPTのリクエストパラメータ | ChatGPTの回答の挙動をコントロールできる「リクエストパラメータ」について学びます。リクエストパラメータを理解することで、生成される回答の文脈や、トピックの関連度合いを制御することができます。 |
| 4.1 | | リクエストパラメータとは |
| 4.2 | | リクエストパラメータで回答を制御 |
| 4.3 | | 各種リクエストパラメータの解説 |
| 4.4 | | パラメータを指定した実行 |
| 5 | ChatGPTのAPI活用 | ChatGPTを外部サービスに連携する際に必要となる「API」について学びます。APIを理解することで、タスクを安全に自動化できるようになります。 |
| 5.1 | | APIとは |
| 5.2 | | APIを使用するメリット |
| 5.3 | | ChatGPTのAPI |
| 5.4 | | ChatGPTのAPI料金体系 |
| 5.5 | | APIキーの発行手順 |
| 6 | 外部サービス上でのChatGPT活用方法 | ChatGPTの「外部サービス上での具体的活用方法」について学びます。ChatGPTの画面上でプロンプトを実行するのではなく、スプレッドシート上でChatGPTからの回答を直接取得できるようにすることで、ChatGPTをより効率的に活用することが可能になります。 |
| 6.1 | | 外部サービス上でのChatGPTの活用方法とは |
| 6.2 | | 事例1:文章の校正(実践) |
| 6.3 | | 事例2:ロコミの分析(実践) |
| 6.4 | | 事例3:メルマガ内容の自動作成(実践) |
| 6.5 | | 事例4:営業資料の構成と内容の作成(実践) |
| 7 | Advanced Data Analysisの活用 | ChatGPTが提供する公式プラグインの1つである、「Advanced Data Analysis」について学びます。Advanced Data Analysisを使用すると、言葉で指示を出すだけで、エクセルのデータ分析やグラフ作成を行うことができます。 |
| 7.1 | | Advanced Data Analysisとは |
| 7.2 | | Advanced Data Analysisの使い方 |
| 7.3 | | Advanced Data Analysisでできること |
| 7.4 | | 活用例1:データ分析 |
| 7.5 | | 活用例2:スライド自動生成 |
| 8 | ノーコードを用いた業務自動化 | 音声データをもとに議事録を自動で作成するなど、ノーコードでChatGPTと他のサービスを組み合わせて、業務をどのように効率化できるかについて実戦形式で学びます。いくつかのケースで開発を実際に行い、実務の自動化スキルを高めます。 |
| 8.1 | | ノーコードツールmakeとは |
| 8.2 | | ノーコードツールを使用しない場合の実装 |
| 8.3 | | 事例1:問い合わせ内容への返信文面案を自動生成(実践) |
| 8.4 | | 事例2:自動議事録作成で業務を効率化(実践) |
| 8.5 | | 事例3:独自データを活用した自社サービスFAQ構築(実践) |
| 8.6 | | 事例4:ヒアリング内容から提案資料を自動構築(実践) |

※受講契約期間内では、いつでも再受講が可能です。

※Eラーニングの受講にあたり、一部内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。